



# 学校だより

令和5年5月31日  
横浜市立仏向小学校

6月号

## はじめての・・・

副校長 笠原 丈史

仏向小学校に着任して2か月が経ちました。副校長として初めての小学校での勤務で、いろいろと分からないことも多く、一つのことをするのにそれなりに時間も掛かってしまっています。そんな中でも、子どもたちからは「副校長先生」と声を掛けてもらったり手を振ってもらったりして、子どもたちの明るく元気な声や姿に、毎日励まされています。初めての学校で私自身も不安もある中でしたが、やはり、声を掛けてもらえる、自分のことを知ってくれているというのは嬉しいものです。子どもたち自身が「自分のことを知ってくれている」と確信を持つことができるように、私も一日も早く名前を呼んで子どもたちに話しかけられるように頑張りたいと思います。

さて、先日、1年生の遠足と一緒に出掛けました。入学後初めての学年揃っての校外活動です（私にとっても仏向小学校での初めての引率です）。6年生に見送られながら、元気よく出発しました。保土ヶ谷公園までの道は、歩道のないところ、道路の狭いところ、それなりの車の往来のある道路を横断するところなど、結構危険なところもあります。家族や少ない人数では、普段から通ることもある道だとは思いますが、100人くらいの集団で歩くとなると、勝手が違います。



1年生のみんなも「遠足」という楽しみの中に、少し「緊張する」気持ちもあったかなと思います。先生たちも、みんなで出掛ける初めての遠足なので、みんなを安全に誘導して、楽しい遠足になるようにしっかりと事前に計画を立てて当日に臨みました。確かに、狭い道路にトラックが入ってくることなどもあってドキドキすることもありましたが、どのクラスも先生が考えた歩き方、気を付けることの約束を守って、言葉がけや合図にも従って安全に気を付けて歩くことができました。公園では3つの活動が計画されていましたが、クラスごとに時間を決めて1つずつ交替での活動になります。各クラスで、担任の先生が子どもたちに丁寧に説明をしてから初めの活動に入りましたが、実際に活動を始めたら時間でうまく切り替えられるかなあ・・・とっていました。でも、そんな心配はいりませんでした。どのクラスも、時間（時計）を気にしている子がいて、時間になると声を掛け合いながら次の活動へと移ってっていました。

「はじめて」って、不安があったり緊張したり、また周りは心配したり、と結構ネガティブに考えがちなのもあるかと思っています。確かに、それによって用心して慎重にできるというメリットもあるかと思っています。でも、反対に「はじめて」ってワクワクしたり新しい発見ができたり、またできたことで自信になったりとポジティブな面も多くあります。また、大人にとっても、子どもたちの成長やできること、新たな一面の発見ができる貴重な機会でもあります。

「はじめて」・・・不安や心配はあるかもしれませんが、子どもたちの可能性を広げたり伸ばしたりしていくために、慎重に、丁寧に準備をしながら積極的にチャレンジしていければと思います。